

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年08月31日

計画の名称	安全・安心な芦屋の公園づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	芦屋市												
計画の目標	芦屋市公園施設長寿命化計画に基づき公園施設の予防保全的な維持管理・改築を行うとともに、公園施設のバリアフリー化を図ることにより、誰もが安全に安心して利用できる公園づくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	590	A	590	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H26当初)	(H28末)	(H30末)
1	平成23年6月に策定した芦屋市公園施設長寿命化計画を、計画策定から5か年が経過するのに合わせて、見直しを実施する。 芦屋市公園施設長寿命化計画に記載されている公園施設の見直し率 長寿命化計画を見直しされた施設を有する都市公園数（箇所）／長寿命化計画に計上されている都市公園数（箇所）	0%	100%	100%
2	平成30年度までに310基の施設について公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築を行い、平成30年度までに改築が必要な公園施設の割合を0%から100%にする。 公園施設長寿命化計画に基づき平成26年度から30年度までの間に改築が必要な公園施設の割合 長寿命化計画に記載されている公園施設で改築された施設数（箇所）／改築の必要のある施設数（箇所）	0%	60%	100%
3	平成30年度までに13箇所において都市公園のバリアフリー化を行い、バリアフリー化が必要な都市公園の割合を4%から29%にする。 芦屋市移動円滑化計画において優先的にバリアフリー化が必要な都市公園のうち、バリアフリー化された都市公園の割合 バリアフリー化された都市公園数（箇所）／優先的にバリアフリー化が必要とされている都市公園数（箇所）	4%	11%	29%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	--------------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------

A 基幹事業																					
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H26	H27	H28	H29	H30					
一体的に実施することにより期待される効果 備考																					
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	芦屋市	直接	芦屋市	—	—	芦屋市公園施設長寿命化 計画策定調査 (1-A1-1)	公園施設長寿命化計画策定	芦屋市		■					26	—		
	A12-002	公園	一般	芦屋市	直接	芦屋市	—	—	芦屋市公園施設長寿命化 対策支援事業 (1-A1-2)	南宮公園等46箇所における遊 具の改築 等	芦屋市	■	■	■	■	■	290	策定済			
	A12-003	公園	一般	芦屋市	直接	芦屋市	—	—	芦屋市都市公園安全・安 心対策緊急総合支援事業 (1-A1-3)	呉川公園等13箇所における便 所のバリアフリー化 等	芦屋市	■	■	■	■	■	274	策定済			
											小計							590			
											合計								590		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 芦屋市公共事業評価検討委員会	事後評価の実施時期 令和2年度	
	公表の方法 芦屋市ホームページ	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園にある公園施設について、健全度調査により施設の状態を把握することができた。また、長寿命化計画を策定したことにより、施設ごとの補修・更新のタイミングを把握し、10年間に必要な維持補修・更新に要する費用の平準化及びコスト削減を図ることができた。 ・長寿命化計画で予定されている施設を更新することで、安全に安心して利用できる公園施設が増えた。 ・公園のバリアフリー化を行うことで、平常時から誰もが安全に利用できる公園が増えただけでなく、災害時においても防災拠点として利用できる公園が増えた。 ・限られた財源の中で、バランス良く施設の整備を行った。 	
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）		

○特記事項（今後の方針等）

・市民の誰もが安全かつ安心して利用できる公園を整備するために、芦屋市公園施設長寿命化計画に基づく施設の補修・更新や公園のバリアフリー化を、継続して進めていく必要がある。
 ・単に施設を更新するのではなく、子どもや高齢者などの施設利用者にアンケート等により直接意見を伺うことで、ニーズに合った施設更新を行うとともに、公園改修に参画する意識を持ってもらい、公園への愛着につながる取り組み方をしていく必要がある。
 ・公園施設の改築・更新にあたっては、必要性を鑑み、財源確保に努めていくとともに、実施段階においても、付加価値を高める方法を検討しながら公園施設の改築等を進めていく必要がある。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
長寿命化計画を見直しされた施設を有する都市公園数（箇所）／長寿命化計画に計上されている都市公園数（箇所）		
2	最終目標値	100%
	最終実績値	33%
長寿命化計画に記載されている公園施設で改築された施設数（箇所）／改築の必要のある施設数（箇所）		
3	最終目標値	29%
	最終実績値	11%
バリアフリー化された都市公園数（箇所）／優先的にバリアフリー化が必要とされている都市公園数（箇所）		
限られた財源を適切に配分する中で、本事業に必要な財源が確保できず、当初目的の進捗が図れなかったため。		
限られた財源を適切に配分する中で、本事業に必要な財源が確保できず、当初目的の進捗が図れなかったため。		

(参考図面)

